

ASA
大田中央

ASA
東大井

Presents

2007.6月

ASAスタッフは町歩き達人でもある。朝日新聞販売店発で近所散歩

よく歩くと目的

No.2
(毎月25日発行)



1



2



見晴らし通りから入り込む街路

その昔、富士山まで見えた程の見晴らしの良さから、その名も「見晴らし通り」。そこにはどんな出会いがあるのか？見晴らし通りからあっちへこっちへ…。住宅街に迷い込んでみることにした。



4



5

④公園にのびる土管機関車 東大井公園の真ん中には、コンクリの機関車。子ども達が来るのを待っていた。

⑤元気な双子ちゃん 公園に遊びに来ていた双子の姉妹。小さな体で木製のアスレチック遊具に登ったり降りたり。大好きな公園なんだそうです。



6

⑥電柱の遺跡発見！ 路地裏に立つ、古い石柱。近くのお豆腐屋さんを探ると、今は使われなくなった昔の電柱なんだそう。柱には古いツタが、電線のように上の方までからまっていた。



⑦「株」おじさん現る お豆腐屋さんで、世間話に花を咲かせるご近所の元気なおじさんに出会う。健康の秘訣を伺うと「株式だね」との答えが！

⑧“喫茶”の看板にひかれて ちょっとひと休みしたいところへ、「カフェ・ラララ」の看板。「いきいきラボ関が原」の建物にある、しながわシニアネットの方が運営している喫茶。手作りのお汁粉と珈琲ゼリーでひと息。「カフェ・ラララ」東大井6-11-11 関ヶ原シルバーセンター2F お汁粉、珈琲ゼリー 各200円

①見晴らし通りの入口には見晴らし通りの始まりは鮫洲駅方面から見ると、東大井4-1と東大井5-26の間から。すぐに目をひかれるのが、味噌屋さんのショーウィンドーに、ドーンと置かれた巨大な樽。これと同じサイズの樽で今も味噌を造っているそうだ。「仙台味噌屋」東大井4-1

②気持ちのいい木、みつけ！ 風が通り抜けると頭の上でザワワツと涼しげな葉音が聞こえた。立会小学校の側の、社員寮の庭木だった。



3

③開店前の魚屋さん 見晴らし通りの魚屋さんでは、店主が開店準備中。「こんな天気の良い日にや、俺も散歩に行きてえなあ…」と言いながら、スイーツと次々アジをさばっていく。「きくや」東大井5-23



7



8

9

⑨この壁はなんだろう…？ 見晴らし通りから左に入ると高い壁。この上には一体何が…？壁から上に階段を見つけ、上ってみる。

⑩来福寺の境内に辿り着いた 階段の上は、来福寺の境内だった。どうやら裏口から入ったらしい。右回りに3回巡拝してから祈願すると願いが叶うという、宝篋印塔をお参りした。

10



11

⑪屋根越しの空に煙突が一本 来福寺の駐車場から、住宅の屋根と電線の向こうにすくと立つ煙突が見える。よし、行ってみるか…。

12

⑫煙突の謎、衝撃の結末 向かった先に、銭湯が現れる…と思いきや、煙突以外は空き地があるのみ。「もう煙突の中もボロボロだったよ」と、解体現場のお兄さん。充分にお役目を果たした「江戸の湯」最後の姿だった。



⑬街角の掲示板で 町会の役員さんが掲示板のポスターを貼り替え中だった。「俺は生まれは江戸だけど、育ちは湘南。湘南ボーイの走り、昔は結構ならしたもんさ」と、まわら帽子の下からニカッと笑顔。



14

⑭思わず引き寄せられる 細い階段 見晴らし通りから下へ伸びる、細い階段。階段の下から見上げると、さっきまで歩いてきた道が、違う場所のように見える。



15



⑮大井の聖天様へ 変わった形の鳥居がある大福生寺。「大井の聖天様」と昔から親しまれている。掃除中だった作務衣姿のお弟子さんが、お寺の由来を教えてくださいました。お寺の猫の「シマ」が隅でじっとこちらを伺っていた。



16



⑯ヘルマン坂を下る 大福生寺の前の「ヘルマン坂」を下る。なだらかなカーブに沿って、つたの垂れ下がるお寺の壁が続く坂道。覆うように伸びる大きな桜が、見頃の時にはさぞや綺麗だろう。

⑰関ヶ原公園では 「関ヶ原」はこの辺りの古い地名。合戦地ではない。お孫さんを連れておばあちゃんが日なたぼっこをしていた。公園に沿って、立会緑道が続いている。

17



18



⑱工事現場の気になる木 工事現場で見つけた一本の木。竹ぼうきを逆さにしたような枝の先に、緑色の固まりがらたつ。「あれ、鳥が巣作りしてるのよ。2、3日前にはなかったんだから」と、通りすがりのおおくさん。「こちら辺、不思議だらけだから」と、去っていった。

⑲桜橋で終わりとする 橋の下にはゆっくりと立会川が流れる。見晴らし通りを中心に「アマダくじのように路地をさまよう」、そんな目的でみなさんもお散歩してみても？

19



※次回7月号では、大森ベルポートの「フリーマーケット」と周辺の散歩を予定。